

- 問1 合意形成における「公正」の視点について、その内容を具体的に説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 最も多くの人賛成した意見を、反対意見に関わらず速やかに実行に移すこと
 2. 決定に至る過程に全員が参加でき、同じ条件のもとでルールが適用されること
 3. 一度決定したルールは、効率を維持するために例外を認めず固定し続けること
 4. 全体の利益を増やすために、一部の人が受ける不利益についてはやむを得ないものとする
- 問2 ICT (情報通信技術) の発達により、情報の収集や発信が容易になった現代において、憲法第13条の幸福追求権などを根拠に注目されるようになった「新しい人権」のうち、個人の私生活に関する情報をみだりに公開されない権利を何といいますか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. アクセス権
 2. 自己決定権
 3. プライバシーの権利
 4. 知る権利
- 問3 1995年に発生した阪神・淡路大震災は、日本の市民社会におけるある活動のあり方を大きく変える転換点となりました。この震災をきっかけに重要性が再認識され、後のNPO法制定へとつながった動きと、その活動の性質について述べた文として正しいものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 自発的に社会に貢献するボランティア活動が注目され、行政では行き届かない細かなニーズに応える役割が期待されるようになった。
 2. バブル景気による経済的余裕を背景に、企業の利益最大化を第一とする営利組織の拡大が法律で強く推進されるようになった。
 3. 政府がすべての社会課題を解決すべきであるという考えに基づき、民間団体の政治参加を制限する制度が整えられた。
 4. 日本銀行が国債を売却して通貨量を調節する公開市場操作が行われ、震災によるデフレ対策としての財政政策が強化された。
- 問4 情報化が進化した現代社会における情報の扱い方として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. SNSで発信された情報は、多くの人に共有されているものであれば、その信憑性を確認せずに拡散してよい。
 2. インターネット上でのトラブルを防ぐため、情報の信憑性を確かめるとともに、他者のプライバシーを尊重して情報を活用する。
 3. ICTの発展による利便性のみを追求し、個人情報の流出リスクについては利用者が考慮する必要はない。
 4. AI (人工知能) を活用する際は、その仕組みや導き出された情報の根拠を人間が判断する必要はない。
- 問5 1999年に制定された「男女共同参画社会基本法」の内容や背景を説明したものとして、最も適切な記述はどれか選びなさい。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 職場における性別を理由とした差別を禁止し、雇用の機会均等を図ることを主な目的としている。
 2. 全ての企業に対し、役員に占める女性の割合を一定以上にするよう法的に義務付けている。
 3. 男性も女性も、自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保されることを目指している。
 4. 育児や介護を行う労働者が、離職せずに仕事を続けられるよう休業制度を保障している。
- 問6 ノーマライゼーションの理念を具体化するための取り組みについて述べた文として、最も適切なものはどれか、選んでください。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 労働環境を改善するために、最低賃金を引き上げて国民の所得水準を均一化させる。
 2. 障害の有無に関わらず、すべての人が地域社会の中でともに生活できる社会を築くことを目指す。
 3. 経済的な格差を是正するために、高所得者の税率を高くして社会保障の財源に充てる。
 4. 特定の施設に障害者を保護し、専門的なケアを集中させることで生活の安全を確保する。
- 問7 1960年代の高度経済成長期、三重県四日市市の沿岸部に建設された施設群から排出された有害物質により、激しいせきや呼吸困難などの健康被害が発生しました。四大公害病の一つに数えられるこの公害の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 水俣病
 2. 新潟水俣病
 3. イタイイタイ病
 4. 四日市ぜんそく
- 問8 男女共同参画社会を実現するために、現代社会が解決すべき課題として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 専業主婦世帯の割合を増やすことで、家庭内における育児や介護の責任を女性が専念できるようにする。
 2. 公的な役職や企業の管理職をすべて女性に限定することで、過去の男女格差を速やかに是正する。
 3. 男性の労働時間をさらに延ばすことで、経済的な豊かさを確保し、家庭の安定を図る。
 4. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担の意識を解消し、仕事と家庭生活の両立を支援する。
- 問9 近年、地方自治体などでAI (人工知能) を活用した新しい公共交通システムが導入されています。予約した利用者の位置情報をリアルタイムで集計し、AIが最短かつ無駄のない巡回ルートを算出する仕組みにおいて、このシステムの主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. インターネットを利用できない高齢者を排除し、若年層の利用率を向上させる
 2. 需要に合わせて効率的に運行することで、コスト削減と利用者の利便性を両立させる
 3. 車両の走行距離をあえて延ばすことで、地域住民の目に触れる機会を増やす
 4. 決まった路線を定刻通りに運行することで、利用者の待ち時間をゼロにする
- 問10 特定の国や地域の間で、関税や輸出入の制限を撤廃し、自由な貿易を促進することを目指す自由貿易協定 (FTA) の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 先進国と途上国の間の経済格差である南北問題を解消するために、先進国が途上国へ一方的に援助を行う制度である。
 2. 国際社会における武力紛争を防ぐために、加盟国すべてが協力して領土問題や国境紛争を解決する国際組織の取り決めである。
 3. 物品の関税だけでなく、投資、知的財産の保護、人的交流の拡大など、幅広い分野での連携を強化する仕組みである。
 4. 特定の国同士で貿易の障壁をなくすことにより、域内での商品の流通を活発にし、互いの経済を活性化させるものである。
- 問11 社会のきまりを話し合って決める際、限られた時間や資源を有効に使い、社会全体の無駄を省きながら、より大きな利益が得られるようにすることを重視する考え方を何といいますか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 多数決の原理
 2. 効率
 3. 公正
 4. 個人の尊重
- 問12 情報社会における利用ルールを検討する際、人々の多様な意見や課題を多角的に整理・分類するために組み合わせる基準として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 「通信速度の制限の要否」と「端末価格の制限の要否」
 2. 「利用場所の制限の要否」と「購入店舗の制限の要否」
 3. 「契約者の年齢の制限の要否」と「画面サイズの制限の要否」
 4. 「利用目的の制限の要否」と「利用時間の制限の要否」